

 **必ずお読みください。**

## 使用区分・構造・機能

●保護帽は、その使用区分(作業内容)によって、機能、構造が異なります。使用区分のマークを参照しながら、必ず適切な保護帽をお選びください。

使用区分	構造	機能
 <b>飛来・落下物用</b>	帽体、装着体、およびアゴひもを持つもの	上方からの物体の飛来、または落下による危険を防止、または軽減するためのもの
 <b>墜落時保護用</b>	帽体、装着体、衝撃吸収ライナー、およびアゴひもを持つもの	墜落による危険を防止、または軽減するためのもの
 <b>電気用(使用電圧7000V以下)</b>	帽体が充電部に触れた場合に感電から頭部を保護するもの	頭部感電による危険を防止するためのもの
  <b>飛来・落下物用 電気用 兼用</b>	帽体、装着体、およびアゴひもを持つもので、帽体が充電部に触れた場合に感電から頭部を保護するもの	上方からの物体の飛来、または落下による危険を防止、または軽減し、頭部感電による危険を防止するためのもの
   <b>墜落時保護用 飛来・落下物用 電気用 兼用</b>	帽体、装着体、衝撃吸収ライナー、およびアゴひもを持つもので、帽体が充電部に触れた場合に感電から頭部を保護するもの	上方からの物体の飛来、または落下による危険、および墜落による危険を防止、または軽減し、頭部感電による危険を防止するためのもの